岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　東福田４支外　砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

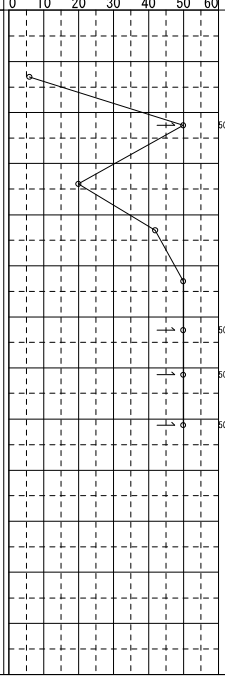
事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　ダム・溜池

ボーリング名	東福田4支Bor.3	調査位置	東福田4支　N0.0 L28.2m	北緯	34° 26' 43.1032"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年12月 9日～ 令和2年12月10日	東経	132° 32' 43.0520"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 188.35m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	28° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：D-0B（東邦地下工機） エンジン：NFAD8(ヤンマー)　ポンプ：BG-3B（東邦地下工機）

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	187.05	1.30	SC	粘土質砂	褐	w5	h4	E	VI	d	D	0 100	表層、草根を混入する。 砂は細砂が主体。粘土分を少量含む。含水量は少ない。	
2	186.15	2.20	G	礫混じり粘土質砂	褐							0 100	砂は細～中砂が主体。 φ5～20mmの角礫を10%程度混入する。 含水量は少ない。	
	186.00	2.35	Gr	風化花崗岩	白灰	w4	h1	E	VI	d	DM	40 60 100	標準貫入試験時に風化花崗岩を割って採取する。	
3	185.25	3.10	tg	花崗岩	白灰	w2	h1	B	II	b	CH		風化花崗岩中のコアストーンで、岩質は硬質。コアは割れて採取できるが、実際のコア長は0.3～0.4m程度で、亀裂面は酸化が認められる。	
4			Gr tg	風化花崗岩	褐灰	w4	h1	E	VI	d	DL	0 100		
5	183.35	5.00										0 100	（中粒黒雲母花崗岩） 岩組織を明瞭に残すものの岩芯まで風化進行し、コアは土棒状で採取できるが指圧で容易に潰れ砂状となる。 長石類の殆どは粉末状に風化する。DL級岩盤に区分出来る。	
6			Gr tg	風化花崗岩	褐灰	w4	h1	D	VI	d	DM	0 100	採取したコアは岩芯まで風化進行し、指圧で容易に砕け砂～細樣状となる。 亀裂面は不明瞭。	
7												0 100	DM級岩盤に分類出来る。	
8	180.35	8.00												
9														
10														
11														
12														
13														

標準貫入試験



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	1.15	6 / 300		
	1.45			
50以上	2.15	50 / 200	200	
	2.35			
20	3.25	20 / 300		
	3.55			
42	4.15	42 / 300		
	4.45			
50	5.15	50 / 300	300	
	5.45			
50以上	6.15	50 / 220	220	
	6.37			
50以上	7.00	50 / 270	270	
	7.27			
50以上	8.00	50 / 230	230	
	8.23			

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		12/9	600	66	シングル/NC	250	50	0	W1/0	0
			300		ダブル/NC	200	100	3	W3/20	19
			120		ダブル/DC	200	150	4	W3/10	9
			400		ダブル/MC	200	100	4	W3/30	28
						200	100	4	W3/30	28
			200		ダブル/DC	200	150	4	W3/10	9
		12/10	300		ダブル/NC	250	100	4	W3/30	28